

4 学校生活の安全対策

1 安全第一の実験・実習を

修学ガイダンスや指導教員、先輩の指導を遵守し、不明な点は必ず確認して、安全第一の実験・実習を行ってください。

◆実験のための一般的心得◆

- 整理整頓・点検・後始末を心掛ける。
- 適切な作業衣・保護具を使用する。
- 周到な準備と無理のない実験計画を組む。
- 真摯な態度で実験に取り組む。
- 事故発生時の対策を確認してから実験に着手する。



緊急事態発生!

大声で近くの人に、事故を知らせ、一人では対処しないこと。負傷者は安全な場所に移動せよ。元栓・スイッチをOFFに、出血部は心臓よりも高く!

火災事故

初期の消火は効果大
火災報知器ボタンを押せ!
無理とわかれば緊急避難

ガス中毒

ガスの事故には飛び込むな!
元栓閉めて、窓開けよ!

感電事故

感電をしている人には、ちょっと待て!
絶縁手袋使いなさい
(人工呼吸、心臓マッサージ)

万が一事故が起こったら → 守衛室・学生支援センター・各学部の学務担当窓口へ連絡を!
119番・110番通報を!

2 安全で健康的なスポーツ活動を

スポーツ活動は、大学としてもその活性化のために支援し奨励しています。しかし、スポーツには常にケガや事故の危険がつきまっています。決して油断なく、無理のない計画を安全第一に実践してください。顧問教員や指導者・リーダーの指示や助言に従って、健康的な活動を行ってください。

1. 負傷や事故の原因

- 実力不相応の活動
(力量の違い過ぎる相手との試合、体力不相応の計画や実力不相応の活動)

1
からの健康2
交通反の防止・
防犯3
日常生活の
安全対策4
学校生活の
安全対策5
事故・災害等
場への対応

- 疲労の蓄積
- 不注意又は判断ミスに起因する事故
(天候予測の誤り, 装備の点検不十分, 部員の疲労度についての判断ミスなど)

2. 事故にあわないために

- 自分自身やチームの仲間の健康や体力の状況を把握しておく。
チームの健康管理が大切 **(特に試合の前に酒を飲み過ぎたりしないこと。)**
- 無理無謀厳禁! **練習や遠征・合宿は余裕を持って無理のない活動計画をたてる。**
新型コロナウイルス等の感染症が流行する場合があります。遠征等に行く時はその必要性和時期を十分に検討し、中止することも考えて下さい。
- 施設, 設備・用具の**安全点検は常時実施**, 異常はすぐに関係者に連絡する。安全が確認されるまで絶対に使用しない。
- 急激な運動を避け, **準備運動や基礎練習**を十分に行う。
- 活動マニュアルなどは, 具体的な**事故防止の方策**も取り入れて作成しておく。
- それぞれの**サークル毎に安全基準や活動マニュアル**を作成し, その対応を十分検討しましょう。



登山等の事故防止

- 登山は豊富な経験と優れた技術, 指導力を持ったリーダーのもとで行動しよう。
- 登山などの目的にあった用具を持参しよう。
- あなたの装備・計画・技術・体力は冬山に耐えられますか?
- 登山は気象状況の把握が肝要です。
- 山はしばしば天候が急変し大荒れになります。
- 登山計画書はあなたの生命を守るザイルです。
- 危険回避は自分の責任です。
- 季節の変わり目には特に注意を!
(ふもとでは春でも山は冬, なだれ・吹雪・凍結に注意)

1 からだと
心の健康

2 違反の
防止・
交通
事故

3 日常生活の
安全対策

4 学校生活の
安全対策

5 事故・災害等
の場合の
対応

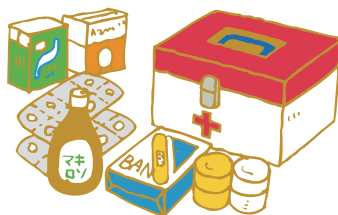
3. 安全基準の内容の例

- 安全指導担当者
- 施設、設備、装備などの安全点検
- 部員の安全対策の理解度の点検
- 安全確認の励行
- 安全に十分配慮した訓練計画書の作成
- 天候や時間など活動中止の判断基準の作成
- 服装・装備や練習場など事故防止の心構えと検討



4. 万が一の事故に備えて

- 予測可能な緊急事態に対応するマニュアルの作成
(事故発生時の緊急連絡体制及び対応策の整備)
- 保険制度の活用 (大学の保険だけでなく、スポーツ災害保険など)
- 救助方法の訓練
- 救急箱の常備
- 応急手当の正しい知識の学習
- 計画書の大学などへの事前届出の励行
- 保険証などの携帯、血液型の把握



1 心からの健康

2 交通違反の防止・交通事故の防止

3 日常生活の安全対策

4 学校生活の安全対策

5 事故・災害等への対応

3 施設整備に協力を

大学では施設の安全確保のため十分気を付けていますが、万一学内の
建築物などで危険な状況を発見した人は



**学生支援センター（課外支援コーナー）
又は近くの各学部の学務担当窓口**に連絡を！

- 通路上の瓦や壁が剥がれ落ちそうになっている。
- 道路が陥没している。
- 電柱や植木が倒れそうになっている。
- 電線が切れている。
- ガス洩れ、水洩れなどが発生している。
- 床板が破損したり、腐食したりして不安定になっている。

※なお、アスベストについては、全施設対応済です。

4 盗難・遺失物・拾得物(落とし物)について

学内外を問わず空き巣、置引きなどの盗難事件が多発しています。

肌身から離すな、現金・貴重品!

盗難にあったら

学生支援センター
又は各学部の学務
担当窓口へ連絡を!

浦上警察刑事一課盗犯係
☎095-842-0110 (代表)へ
連絡を!



◎置引き

財布やバッグを教室に置いたままにしないでしましょう。
席を離れる際は、貴重品を手元から離さないことが大切です。
体育やサークル活動で更衣室を利用するときも、貴重品ロッカーに荷物を保管しましょう。

◎空き巣

一人暮らしのワンルームマンションを狙った空き巣が発生しています。
ゴールデンウィーク、お盆、年末年始など長期間不在にするときを狙われます。
自宅には貴重品や現金を置いたままにしないでしましょう。
鍵はツーロック、窓ガラスは補助鍵や防犯シート、センサーライト等で防犯効果を高めましょう。
2階以上の部屋でも油断は禁物です。大家さんとも相談しましょう。

◎落とし物を拾った人

落とし物を拾得した人は以下に持参願います。

- 講義室などの拾得物…講義室を管理している事務室へ
- 共用部分や学生会館、生協等の拾得物…学生支援センターへ
- 学外で拾った拾得物…近くの交番(警察署)へ



◎落とし物をした人

各自、落とし物・忘れ物をしないように十分気をつけてください。
また、可能な限り持ち物には氏名を書いておきましょう。

長崎大学構内で落とし物をした場合は、落した場所を管理している事務室にまず尋ねてみてください。教室の忘れ物については、教養教育講義棟での忘れ物は教養教育事務室に、専門教育で使う教室の忘れ物はその学部にある事務室に届くことが多いです。その他文教地区の生協や学生会館、守衛室に届いた拾得物については、学生支援センターに集約されます。大学に学生証などの名前がわかるものが届いた場合は、直接電話やメールで連絡しますので、095-819などで始まる電話番号からの着信は取るか、折り返すようにしてください。

5 空(カラ)出張・空(カラ)謝金に巻き込まれないために

大学では、研究等の補助者として作業してもらったり、出張に同行してもらったりした学生に対し、謝金（謝礼）や旅費を支給しています。

過去に他大学において、この制度を悪用した次のような不正事例が発生しています。

- 教員が、実際は学生が出張していないにもかかわらず、出張したかのように学生名で出張を申請し、大学から学生の口座に振り込まれた旅費を回収、詐取した。【空(カラ)出張】
- 教員が、実際は学生が作業していないにもかかわらず、作業したかのように見せかけるため出勤簿や作業報告書に学生に印鑑を押させ、大学から学生の口座に振り込まれた謝金を回収、詐取した。【空(カラ)謝金】

このような不正行為に巻き込まれないように、次のようなことに留意しましょう。

- 教員に印鑑を預けない。
- 書類に印鑑を押すように言われても、何のための書類であるかを確認し、理解したうえで押印する。

もし、身に覚えのないお金が大学から振り込まれたら、教員に相談せず、下記へ問い合わせるようにしてください。

【問い合わせ先】長崎大学管理運営部経理調達課会計統括班

TEL : 095-819-2149

Mail : keirihan@ml.nagasaki-u.ac.jp

不正な行為であると認識していながら教員に加担した場合、懲戒の対象となることはもちろんですが、認識していなくても、状況によっては懲戒の対象となることがありますので注意してください。（P78の「14 懲戒処分について」を参照。）

1 からだと
心の健康2 交通
事故・
防犯
防止3 日常生活
の
安全
対策4 学校生活
の
安全
対策5 事故・
災害
等
への
対応